

クラブ管理運営委員会 活動計画

常任委員長 藤原 新一

《方針》

- ①例会の出席率向上、クラブ活動に参加したいという気持ちを醸成させる。
- ②クラブ活動に参加することで「南クラブ」の伝統、格式、気品そして何より「楽しい」を会員に再認識してもらい、誇りを持ってクラブ活動に参加する。

《計画》

- ①クラブ管理運営委員会を適宜開催し、時宜を得た例会運営を目指す。
- ②外部卓話を充実させ、多様な視点を会員と共有する。
- ③会員全員が参加する例会を意識してもらうため、適宜役割等を全員に負担してもらう。

1. 例会親睦委員会

委員長 雉田 直輝 副委員長 竹村 克二
委員 伊藤 智晴 大野 治雄 小川 仁司 杉山 浩之 中田 克己
中山 正太郎 森泉 朋子

《方針》

魅力ある楽しい例会と親睦の企画を実践し、会員間の懇親を深めるとともに、出席率向上、ビジターとの交流、会員維持増加を図り、もってクラブの発展に寄与する。

《計画》

楽しく品格ある例会や親睦企画の立案運営に努める。
新入会員やビジターとの親睦を深める例会運営に努める。
趣味やスポーツを通じた会員間の交流を深める企画の促進に努める。
例会は例会親睦委員会だけでなく、若手からベテランまで全員参加で行う。

2. プログラム委員会

委員長 黒河内 彰子 副委員長 鈴木 晴澄

《方針》

会員が興味を示す卓話を企画し、出席率を高め、楽しく充実した例会作りに努める。

《計画》

会長方針に従い、外部卓話を増やし、会員増強に繋がるような卓話人選も検討する。

3. 友好クラブ委員会

委員長 奥橋 園子

《方針》

会長方針に基づき、友好クラブとの交流事業を実施する。

《計画》

金沢北ロータリークラブへの能登地震後のお見舞い訪問（有志）
鹿屋西ロータリークラブとの交流を図る。

クラブ広報委員会 活動計画

常任委員長 杉崎 信一

《方針》

53年間の歴史とデーター、そしてこれらの資料や活動の記録を保存し、会員間で情報が共有できる仕組みづくりを行う。

クラブのデジタル化を推進し週報のデジタル化と変化あるホームページの作成を行い対外的にそして会員に情報提供出来る仕組みづくりを行う。

1. 会報委員会

委員長 柏原 政人 副委員長 須坂 知恵

委 員 奥橋 園子 小方 實 江田 昌弘 三枝 富博 濵谷 直樹
鈴木 昌彦 松井 克之

《方針》

- ①週報のデジタル化を確立し、ロータリークラブの情報を伝えていく。
- ②週報とホームページを通じて例会の様子や活動内容を紹介していく。

《計画》

公共イメージ委員会と連携し、週報、ホームページに最新の情報を掲載する。

2. 公共イメージ委員会

委員長 伊藤 智晴 副委員長 岩本 勉

委 員 藤原 新一

《方針》

- ①ロータリークラブの公共イメージと認知度の向上に努める。
- ②相模原南ロータリークラブの活動を内外に発信する。

《計画》

- ①奉仕プロジェクトを始めとした、ロータリークラブの活動内容をタウン誌・地域メディア・SNSを通じて定期的に発信し認知度の向上を図る。
- ②相模原南ロータリークラブ HP のリニューアルを実施する。
- ③設立55年に向けた相模原南ロータリークラブ記念ウェアの作成。

会員組織委員会 活動計画

常任委員長 足立 旬一

《方針》

- ①年度末までに、会員数 55 名を実現する。
- ②情報委員会を頻繁に開催し、新入会員に限らずロータリーについて学ぶ。
- ③入会候補者の情報を、クラブ全体で共有する。
- ④職業分類を見直し、多種多様な人材を獲得する。

1. 会員増強委員会

委 員 長 小林 大二郎 副委員長 若林 美佳
委 員 青木 亜也 小野田 勝宏

《方針》

- ①会長方針に基づき、年度末までに会員数 55 名を実現する。
- ②会員を増強し、クラブ全体の活性化を図る。

《計画》

- ①会員増強情報を共有し、組織的な増強に努める
- ②チューーター制度を導入し、新入会員の定着を図る
- ③既存会員にも働きかけて退会を防ぐ

2. 会員選考・職業分類委員会

委 員 長 三枝 富博 副委員長 佐伯 外治

《方針》

会員増強委員会、積極拡大方針を受け、会員増強委員会から推薦された候補者を、速やかに選考する。

《計画》

社会が多様化、急速変化していくなかで、新たな事業や職業に携わり、独自の視点を持った人材、地域社会で評価されている人材を選考し、クラブの人材の幅を広げ活性化をすすめる。

3. ロータリー情報委員会

委 員 長 大谷 新一郎 副委員長 栗林 一郎
委 員 黒河内 三郎 徳久 京子 中村 辰雄

《方針》

新会員、ロータリークラブの歴史とともに、ロータリーの現状をよく理解し、最新の情報を共有していくようにフォローアップしていく。

《計画》

情報委員会を数度開催する。
他クラブの活動・情報を得るようメイクアップを奨励し引率する。
他クラブの会員と積極的に交流する。

基金プログラム委員会 活動計画

常任委員長 徳久 京子

《方針》

- ①ロータリー財団及びロータリー米山記念奨学会への会員の理解を深める。
- ②ロータリー財団及びロータリー米山記念奨学会に対して寄付だけでなく活動、米山奨学生の活動などに会員が積極的に参加する。
- ③他委員会と連携して、ロータリー財団、米山奨学会について社会的認知度の向上を図る。

1. ロータリー財団委員会

委員長 森泉 朋子 副委員長 一ノ瀬 裕

《方針》

- ①年次基金への会員一人当たりの目標寄付金額（200ドル以上）を達成する。
- ②奉仕活動と協同してエンドポリオ募金（一人当たり40ドル以上）を実施する。
- ③前年度の地区補助金事業、今年度地区補助金事業参加者との交流を図り、財団事業に対する会員の理解を深める。

《計画》

- ①財団月間（11月）に財団学友や地区委員の卓話を実施し、ロータリー財団への理解を深める。
- ②相模大野ハロウインフェスティバル、さがみはら能におけるポリオ募金の他、奉仕活動、相模大野商店会イベントと連携してポリオ募金を実施する。

2. 米山奨学会委員会

委員長 宮崎 雄一郎 副委員長 桑田 俊夫

《方針》

- 会員一人当たりの目標額（20,000 円以上）を達成する。
- 米山留学生との交流を図る。

《計画》

- ①米山月間（10月）に米山留学生、米山学友、または地区委員の卓話を実施し、米山奨学制度への理解を深める。
- ②ロータリー情報委員会と連携して米山記念館への訪問を実施する。

奉仕プロジェクト委員会 活動計画

常任委員長 山田 修

《方針》

役割を分かち合い、みんなで実行・行動し、地域社会に変化を引き起こしましょう。

1. 社会・国際奉仕委員会

委員長 小川 仁司 副委員長 鈴木 昌彦

委員 江田 昌弘 加藤 岳 杉山 浩之 松山 隆雄

《方針》

次年度で55周年を迎えるにあたり、今までの奉仕活動を行いながら、地域社会に貢献する共に会員のロータリー活動の充実を図る。

《計画》

- ・相模原能に留学生や地域の方を招待し、日本文化を伝える。(令和7年6月14日開催)
- ・SSP（サイドスタンドプロジェクト）への協力（令和6年9月1日開催）
- ・55周年に向けて奉仕活動の調査研究

2. 職業奉仕委員会

委員長 中村 文子 副委員長 小方 實

《方針》

地域社会が求めている職業奉仕を吸い上げ、地域社会に貢献できる奉仕活動を実践する。そのためには、会員各人が今までの経験や体験を踏まえ、自ら実践するよう努める。

《計画》

職業で得た知識をもとに、相模女子大学高等部で、仕事をテーマとした出前授業を行う。(令和7年3月開催)

3. 青少年奉仕委員会

委員長 中山 智晃 副委員長 溝渕 真澄

委員 岩本 勉 渋谷 勝 中田 克己

《方針》

奉仕活動を通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるように持続的な支援をする。そのために、当委員会のノウハウの承継と企画立案、伝承の仕組み作りに注力する。

《計画》

- ・NPO 法人てらこや食堂ラッキーズを利用する子供たちへの地引網体験と BBQ の実施（令和6年9月23日開催）
- ・青少年交換留学生の受入
- ・幼児、児童サッカー教室の企画・実施（令和6年11月開催）
- ・インターラクトクラブに関する調査研究
- ・委員会活動のノウハウ承継と企画立案、伝承の仕組み作りのためのヒアリング